

《Aさん 87歳 女性 要介護5》

Aさんは長女家族と同居。生活は別々で食事、洗濯なども自身で行っていた。

昨年11月頃より腰痛で自宅にこもるようになる。腰痛悪くし病院受診。

脊柱管狭窄症で入院。退院後、下痢、嘔吐にて食事摂取困難。感染性腸炎疑いで

再入院。移動手段が車椅子、排泄はオムツとなり、自宅退院困難にてリハビリ目

的でハートケアに入所された。

Aさんの希望：「家に帰って生活したい」

家族の希望：「家族は仕事があり、一人で留守番の時間もあるので心配」

入所後、ご自宅訪問し、課題を抽出。

課題：①玄関前の階段がのぼれない

②一人で歩けない、自宅内は車椅子移動が難しい

③自宅トイレ内は段差がある、廊下幅が狭いのでトイレの利用が難しい

④一人で食事をとらなければいけない。薬も忘れてしまうかもしれない

<入所中の経過>

【起き上がり、移動】

入所直後：車椅子への乗り移り時に後方に倒れやすく支えが必要。

1ヶ月後：サークル歩行器使用し歩行時は見守り

2ヶ月後：起き上がり、歩行は自立。階段昇降は付き添いで3段くらい可能

3ヶ月後：独歩で20m、階段昇降付き添いで10段可能

【排泄】

入所直後：終日オムツ使用。定時に交換

1ヶ月後：日中 トイレ誘導（立ち上がり、下衣上げ下ろし介助）

夜間 オムツ使用

2ヶ月後：日中 自室トイレ使用（下衣上げ下ろし見守りにてできる）

夜間 ベッド脇にポータブルトイレ設置し使用時見守り

※尿汚染パットの交換を自分で出来るように練習

3ヶ月後：自宅での排泄方法を考え、終日ベッド横のポータブルトイレ使

尿汚染パットの交換、自己にて交換出来るようになる

【食事、内服薬管理】

自宅での食事は長女さんが準備。自分で冷蔵庫から取り出し、レンジで温め

内服薬は、薬カレンダー使用し食後に自己にて服用

<自宅退所に向けての話合い>

- ・必要な介護サービスの検討

福祉用具レンタル：歩行器（物が運べるようにお盆付きの歩行器）

ベット横に立ち上がる際に使用する置き型手すり

外階段に置き型手すり

通所サービス：デイケア週2回 デイサービス週2回

※自宅での入浴は難しいので通所時に入浴

<退所前の自宅訪問>

- ・本人と共に自宅での実際の動作を確認

外階段：手すりにつかまりながら、長女さんの付き添いで階段昇降可能

室内：ベットから起き上がり、リビング迄の歩行一人で可能

洗面所での手洗い、台所の冷蔵庫から食事を取り出し、レンジ使用し

温めて運ぶこともできた

ベット横にポータブルトイレ設置。汚れたパットを捨てるゴミ箱設置

<自宅退所>

週2回ハートケアの通所利用。利用時、本人にご自宅でのご様子を伺う。

「やっぱり家ではわがまま言えるし、いいわね」と笑って話されていました。

長女さん家族に手伝ってもらいながら順調に生活されています